

貨物改造機の初飛行に成功

■エンブラエル、EC 貨物対応

ブラジルの航空機メーカー、エンブラエルは5日、小型ジェット旅客機の貨物改造機「Eフレighter」の初飛行に成功したと発表した。2022年3月に「E190」および「E195」の中古機を利用した貨物機への改造プログラム開始を発表し、これまで40社以上のサプライヤーと600人以上の従業員がグローバルで開発に取り組んできた。最大積載量はE190型貨物改造機が13.5トンでE195型貨物改造機が14.3トン。同社初と見られる旅客機の貨物機改造プログラムを通じ、旺盛なeコマース（EC）需要に対応した機材を提供していく。同プログラム発表時点では2024年中の初号機納入の見通しとしている。



EC貨物の需要に対応する



E190型貨物改造機の離陸の様子

米国のリース会社、リージョナル・ワンの機材で、初飛行をブラジルで行い、約2時間の飛行で機体を評価した。航続距離は大型貨物用ターボプロップの3倍で、運航コストは最大30%低くなるという。

エンブラエルのフランシスコ・ゴメ

ス・ネット社長兼最高経営責任者（CEO）は、「Eフレighterプログラムはわれわれにとり、新たなビジネスチャンスを開くものだ。ECの世界的な貨物輸送需要の高まりに対応し、ハイテクを駆使したわれわれの機材が比類ない運航性能を発揮していく」とした。

また、「試験期間中にE190型貨物改造機とE195型貨物改造機が急速に進歩したことを非常に喜ばしく思っている。これらのジェット機は、顧客にとって重要なツールとなり、より機敏かつ分散型の配送を可能にするだろう」と述べた。